

プランクトン調査結果のお知らせ

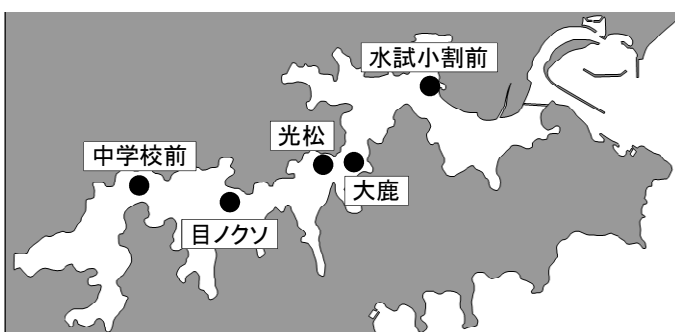
本日9時から浦ノ内湾のプランクトン調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なカレニア・ミキモトイが湾奥部を中心に増殖しており、被害が想定される細胞密度に達していました。現在は比較的深い水深に分布していますが、今後、表層付近へと浮上し、養殖漁場へ拡大してくる危険性も考えられます。慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

	水深	カレニア・ミキモトイ	カレニア・パピリオナセア	デイクチオカ・フィビュラ	ケラチウム・フルカ	ケイ藻類
中学校前	0m	1	0	1	0	3,600
	2m	4	2	0	1	6,100
	5m	67	0	5	0	12,400
	8m	1,510	0	7	3	4,000
目ノクソ	0m	8	1	0	0	5,100
	2m	2	0	0	0	6,300
	5m	70	2	6	5	9,300
	8m	670	0	2	1	9,800
光松	0m	3	0	0	0	7,700
	2m	5	0	8	4	14,800
	5m	90	0	4	3	9,100
	8m	24	0	5	4	6,300
大鹿	0m	3	0	1	0	8,800
	2m	6	3	1	2	12,100
	5m	37	0	0	0	6,700
	8m	6	0	1	3	4,500
水試小割前	0m	3	0	1	1	13,800
	2m	6	1	0	0	8,800
	5m	7	0	0	1	8,400

(cells/ml)



- 漁業被害が想定される細胞密度**
- カレニア・ミキモトイ: 数百~数千cells/ml(へい死)
  - カレニア・パピリオナセア: 赤潮発生時(へい死)
  - デイクチオカ・フィビュラ: 赤潮発生時(へい死)
  - ケラチウム・フルカ: 100cells/ml(餌食いの悪化)